

みなしご通信



乱繁殖ゆえ 咬みつき猫の苦悩

今までの私の経験で2番目に強い咬みつき猫：去年9月に来たメインクーンのららちゃん。体をこすりつけてきて甘えるんだけど撫でてみると突然スイッチが入って咬む、しかもどんどんエスカレートして手が付けられなくなった：と言う理由でした。うちに来てからずっと様子を見ていたら確かにその通り。スイッチが入ると咬みつき猫の特徴★目が三角になり怒り始めると★どくやっても怒りがわかりました。



こういう子の場合室内フリーは非常にマズくて《狭くて》安心できる自分のテリトリーを与えるってのが一番。なので私は3段ケージがベストだと思っています。それも最初はほとんど布で隠して外が見えない状態からスタート。それから4ヶ月：らは落ち着いてええ感じ♪もう布なしでもすごい落ち着いていて近づくると甘えてスリスリしてきます。がここで調子に乗って触ろうとするとこっぴど怒ります(笑)メインクーンにしては体が小さく普通の雑種より《小柄》だし濃厚どころかスイッチが入る凶暴さがあるし、らは純血の

メインクーンではないということになります。すなわち《乱繁殖》血統が読めないド素人がオスとメスをかけて産ませる間違った繁殖のことです。うちで引き取った咬みつき猫には普通の雑種は1匹もいなくて多かれ少なかれ純血種の血が混じった子ばかりです。この《血が混じった》ってのは非常に厄介なことですねある犬種と別の犬種を合わせるとか、ある猫種と別の猫種を合わせるとか絶対にしてはならないこと。身体に不具合が生じて当然なのです。

例えば同じ犬でもブードルとポメラニアン見た目がぜんぜん違うでしょ？ラブラドルレトリバーとジャーマンシェパードも同じ大型犬種でも見た目はぜんぜん違うでしょ？猫だってペルシャとアビシニアン見た目がぜんぜん違うでしょ？それが血統なんです。なのにかけ合わせる？バカでしょ！同種でも染色体の問題でかけ合わせたらまずいケースはいっぱいあるのにそこらを知りもしないで考えもしないでオスとメスをかけ合わせて子どもを産ませるって話、それが今の日本のブリーダーと呼ばれている繁殖屋の現状。

そんな乱繁殖をしていたらそりゃく神経がピリピリする子が生まれてもおかしくないでしょ。咬むのはその子のせいでもないし飼い主のせいでもなく悪いのは乱繁殖をする頭の悪い繁殖屋(ブリーダー)そしてそこから仔犬や子猫を安く売るペットショップ。イヤなことをしたら咬むってのは普通にありうることだからイヤなことをしなければ飼えるわけですが、うちに来るレベルの子たちは限度を超えて咬むから一般の人には飼養は無理。人も猫もお互い不幸になります。なのでペットショップおよび繁殖屋(ブリーダー)から犬や猫を買わないでください。もし知り合いの中にコイツらから犬や猫を買おうとする人がいたら「買わない方がいいよ！後悔するから」と教えてあげてください。

十年つなぎっぱ

十年ほど前、栃木在住のジイサンがどこから仔犬をもらい受け最初は一緒に寝るなどしていたが成犬になつて外飼いに転向！この時点でアウト！なにやっとなんじゃジイ！ちよつとこへ来てみる！と言う話。それから十年ぐらいの年月が流れジイはさらに年を取り自分の体が動きにくくなり犬はつなぎっぱにされました。そればかりか親戚の人が犬の安否を尋ねると「生きていると思うが見てない！自分の体も大変で今は犬どころではない！」ハラワタが煮えくり返るような話ですがこういうクソみたいな話は日本中にいっぱいありそのたびに引き取っていたのではうちが潰れます。が今回は親戚の人たちのやる気と熱意に押されて『わかりました！』私も広島でブイブイ言わしとった



元・不良少女じゃけえ吐いたツバは飲まんよ！なくんて(笑)(笑)(笑)

この寒さの中、つなぎっぱにされ食べ物もあるのかないのかわからないって地獄でしょう。すぐに栃木の者にお迎えに行かせました。バス通りに面し人通りの多い場所ですつなぎっぱなしの犬。それは毎日見ていたらわかります。なのにこれまでここを通る人の中で誰一人として「この犬を助きたい」と思う人はいなかったのかな...と考えたらあまりに寂しすぎるぜ！

付きたいね♪もう、ひとりじゃないし寒くないし毎日おいしいもんが食べれるけんね！明日からは楽しみでしかないね♪

ハクビシン成長

私が広島に帰って一番喜んだのはハクビシンの日野姉妹♪すごいね！こんなに離れていたのにまだ私のことをお母さんだと思ってくれとるよ。私の手をペロペロしまくり♪どれどれ！どんだけ大きゅうなつたか、チェックしてみよ！かのう重い！重い！立派になつてる♪これぐらい成長したころ、自然界だとエサ場の取り合いで同じハクビシンの成獣たちと戦うのです。たがいはいはちびハクビシンが負けて大ケガを負って予後不良で亡くなります。

たまたまそのとき善男善女に助けられうちに来てなるとか命が助かったのが福島のパピちゃんやと東京世田谷のヴィヴィアン。2匹ともぐちゃぐちゃに頭部裂傷していてパピちゃんは頭



蓋骨もバキバキに割れてて私が割れた頭蓋骨をピンセットで取り除いたんですよね。ヴィヴィアンは世田谷の閑静な高級住宅街の個人宅の庭で保護主さんの目前でケンカが始まり、なすすべもなくその後大きなハクビシンは逃げ小さいハクビシンが取り残され動かなくなりうちに相談が来てうみちゃんがお迎えに行つたから、エサ場の取り合いで負傷したのは間違いありません。私たちの身近にいる野生動物たちは私たちの想像以上に厳しい生活を送っている事実を忘れないでいてください。日野セラガと日野メルファ：顔はまだまだ子

猿はレモン好き



どもですが確実に成獣になるうとしています。

無農薬レモンを大量に切つていたらひろしが「欲しい！欲しい！」と騒ぐので『レモンなのに食べるんか？』と端っこを渡したら普通に食べた！そくじゃ！山の中は酸っぱいものや苦いものばかりだから山の生き物は酸味・苦味に強いんじゃないかなこに渡したら一口食べて後ろを向いた...ニホンザルは美味しいものを手に入れたら後ろを向きます。どう？役に立ったかな(笑)役に立つからツ！誰もニホンザルは飼わんけえ！

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
 www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
 〒731-0234
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金
 ▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。